

雪への備え

気象庁によりますと、低気圧が本日4日(火)にかけて急速に発達しながら日本海を北上し、日本付近は強い冬型の気圧配置となる見込みで、北日本から西日本では大雪に、北日本や北陸地方では暴風雪や高波に警戒が必要ということです。その後も数日に渡り、日本付近は強い冬型の気圧配置が続き、上空には断続的に強い寒気が流れ込んで大雪や大荒れ、大しけが続くおそれがあるということです。

普段大雪に見舞われることの少ない九州の平野部に住む私たちに、特に生活に大きな影響をもたらすことが予想されます。情報をこまめに確認し、事前の準備をしっかりしておくことが大切です。

大雪への備えとして、電気やガスの暖房が使えなくなる可能性があるため、防寒グッズ(カイロや湯たんぽ、灯油ストーブなど)を用意しておくといいそうです。

また、停電時にも情報が得られるように、電池式のラジオやモバイルバッテリーなどがあると安心です。低温で水道管が凍結するおそれもあります。水道管の凍結対策や、飲料水の備蓄、生活用水用に浴槽に水をためておくなどをしておきましょう。



わくわくチルドレン紹介

先週、校長室に訪問してくれた人たちがいました。それはバレー部の子供たちで、試合の結果を報告に来てくれたのです。1月26日(日)に行われた熊本市小学生新人バレーボール大会混合の部で5年生が、優勝したそうです。

キャプテンの5年川野 心獅(こうし)さんは、「全員がボールを全部拾って攻撃に繋げるといふ、一つの目標に向かって頑張りました。これからもみんなが同じ気持ちで取り組んでいくことを目標に、普段からのコミュニケーションを大切にしながらチームワークを高めていきたいです。」と述べてくれました。これから楽しみなチームですね。



ユニセフ募金へのご協力ありがとうございました

生活委員会を中心に取り組んだユニセフ募金活動は、総額51,777円の浄財が集まりました。ユニセフは、「あらゆる自然災害で、最も困難な状況に置かれてしまうのは子どもたち」と、世界各地で子どもたちのために活動を続けています。

今年度は、6年生が総合的な学習の時間の中で、ユニセフ協会熊本支部からユニセフについて学ぶ機会がありました。ユニセフの活動やユニセフの役割などを知る機会となり、貴重な学びとなりました。

世界では、5歳の誕生日を迎えられずに亡くなる子供たちが、年間490万人もいるそうです。その死因は主に、肺炎や下痢などの予防可能な病気なのです。そのような命の危機と隣り合わせの子供たちに、今回の浄財が少しでも役に立つことを願っています。

